



たんぽぽぐみだより

2019年 5月 第1号

さわやかな5月。吹く風を心地よく感じられるようになってきました。「おはよう」と声をかけると、ニコッと笑って元気に登園出来るようになり、毎日元気いっぱい遊んでいます。これからいろいろな遊びを通して、成長していく子ども達と共に、笑顔溢れる楽しい保育を進めていきたいと思えます。



上手にできるよ！

最近まで1番小さいクラスにいた子ども達。赤ちゃんだと思っていましたが、上手に出来ることが増えてきました。

1つ目は、朝のお集まりのときに、1人ひとり名前を呼ぶと、全員が手を挙げる事が出来ます。保育参観のときには、緊張している様子でしたが、普段はとても上手です。中には、「はい！」と大きい声で返事が出来る子もいて、保育士が拍手をして褒めると満面の笑みを見せ、お友達にも拍手を送ってくれています。

2つ目は、お片付けです。保育士が、「ないないするよー」と声をかけると、パッと動いて箱に片付けることが出来ています。保育士の真似をして上着をまくり、その中に玩具を入れて持ってきたり、両手いっぱい抱えて持ってきてくれます。みんなで協力して行っているので、あっという間に終わってしまうほどです。

これからも出来ることをどんどん増やしていきたいです。



自我が芽生える1歳児



今年のたんぽぽぐみは、15名でのスタート。今月に2名が入園し、17名になります。新しく入園した子だけではなく、進級した子ども達も新しい環境に慣れず、泣いてしまう姿が多く見られました。1ヶ月が経ち、元気いっぱい笑顔いっぱいの毎日を過ごせるようになりました。

1歳児の1年は、「じぶんでやる！」という自我が芽生え始め、なんでも自分でやりたがります。ですが、まだまだ出来ないことや思い通りにならないことがたくさんあり、怒って泣いたり、ひっくり返って騒いだりする姿も見られます。その反面、「やって」と甘えてくるときもあり、なかなか難しい時期です。また、月齢差が大きく現れます。さまざまな子ども達が一緒に過ごし、刺激し合い大きく成長していくことが今からとても楽しみです。1年間を通して、笑顔がたくさん溢れて、優しい気持ち・思いやりのある心が育つよう、また、たくさん体を動かして「丈夫な体づくり」が出来るように毎日楽しく保育をしていきたいと思えます。

ご家庭でも、関わりの中で難しさを感じることもあるかもしれませんが、褒められることが大好きでなによりも力となる子ども達です。嬉しかったことや、心配なこと、不安なことなどを保護者の方々と共感し合いながら子ども達を見守っていただけると嬉しいです。

子ども達の様子



お山のぼりに
挑戦中！



上手に登れる
かな？

なに、作ろう
かな？

